

2024年度 ESG(環境・社会・ガバナンス)基礎講座 第3回

サステナビリティを考慮した企業統治 ～役員報酬制度、KPIをどう活かすか～

今回のセミナーでは、「サステナビリティを考慮した企業統治～役員報酬制度、KPIをどう活かすか～」をテーマに取り上げます。

ここ数年、企業の情報開示において気候変動に関する情報や、人権に関する情報など、非財務情報の開示基準も整備されつつあり、情報開示が質量ともに充実しつつあります。非財務情報の充実した開示が行われる統合報告書の開示数も増えているだけでなく、有価証券報告書等の法定開示書類でも非財務情報の開示を一層充実するという方向性が示されています。一方で、米国では原因を単純化できないもののESG投資の金額が減るという動きも見られました。また、2025年からはトランプ政権が発足し、米国の政策動向も注目されるところです。

このような激動する環境の下、ESG情報をどのように経営に活用していくか、もう一度整理し、考える時期となっているのではないのでしょうか。

今回は、役員報酬の設計等に知見の深い、ペイ・ガバナンス日本株式会社の阿部直彦様とサステナブルな経営とファイナンスの好循環作りに携わるNPO法人日本サステナブル投資フォーラム(JSIF)理事の岸上有沙様をお迎えして、サステナビリティ情報(ESGに関する情報)を企業のガバナンスにどう活かすか、また今後のサステナビリティ、ESGの動向について考えていきたいと思います。

日時：2025年2月6日(木) 18時～20時(17時45分開場予定)

開催方式：弁護士会館17階1701会議室及びオンライン配信

参加対象：会員(弁護士)のほか、どなたでも参加いただけます。

■プログラム 総合司会 鈴木仁史弁護士(第一東京弁護士会)

◆基調講演

・企業経営者が悩むべき「ESG」要素

岸上有沙氏(NPO法人日本サステナブル投資フォーラム(JSIF)理事)

・役員報酬設計にESG情報をどう組み込むか(仮題)

阿部直彦氏

(ペイ・ガバナンス日本株式会社 マネージングパートナー 代表取締役)

・弁護士におけるESGを考慮した役員報酬制度の検討(仮題)

鈴木仁史弁護士(第一東京弁護士会)

◆パネルディスカッション

(パネリスト) 岸上有沙氏、阿部直彦氏

(モデレーター) 中野竹司弁護士(東京弁護士会)

◆質疑応答



阿部 直彦 氏



岸上 有沙 氏



中野 竹司 氏



鈴木 仁史 氏

■参加申込方法

以下のURL又は右の2次元コードからアクセスし、必要事項を入力の上、お申し込みください。(申込期限：2025年1月31日(金))

参加申込フォーム：<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/esgsmnr/ESGkiso/>

※内容が具体的な体験談等に及ぶ可能性があるため、録音・録画は御遠慮願います。

※御提供いただいた個人情報、日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理いたします。なお、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。



お問合せ：日本弁護士連合会業務部業務第一課 TEL 03-3580-9854